

学校だより(ねあがい)

平成29年12月22日発行 校長 石田 恵一

3年生の皆さんへー何をどう頑張るのか理解して取り組めば成績は伸ばせますー

いよいよ入試まで74日です。74日で信じられないほど成績を伸ばした先輩はたくさんいます。夢大きく、力一杯、悔いのないよう、全力で走り切ってください。学年集会で話しましたが、以前に勤めていた中学校で、「このままでは志望校に行けないので・・」と2人の子が相談に来たのが、終業式の日でした。

(1) その時にアドバイスしたこと、(2) 2人の先輩からのメッセージを紹介します。少しでも参考になれば幸いです。

1 成績を上げるためにアドバイスしたこと

【高い目標を持つ】

中学生が本気になった時にすごい力を発揮するのを何度も見てきたし、みなさんも部活動や学校行事などでこのことを経験してきたはずです。みなさんが持っている可能性を信じることから全てが始まります。人間は必ず変わります。

【やった人にしか分からない世界】

受験勉強は、長いマラソンに例えられます。このつらさは走ってみないと分かりません。いつも話しますが、高い目標に向かいチャレンジするから大変なんです。でも、やり遂げた後の充実感や喜びは、やった人にしか分からない、苦しんだ人にしか分からない素晴らしい世界です。全力で走りきるかどうかはみなさん次第です。でも、結果はどうあれ全力で走りきって、3年生の全員が胸を張って根上中学校を卒業してほしいと思っています。

【学年・クラスのみんなとがんばる気持で】

自分が大変なんじゃないと思います。学年や学級のみんなが3月のゴールを目指して必死に走っていて、学年の先生や担任の先生が一生懸命支えてくれるから、みんなと一緒に最後まで頑張ってみてください。学級が一つのチームで、みんなが同じ目標に向かう仲間です。教室全体の集中力を高めることが大切です。

【勉強は、時間も大切ですが集中力が大切です】

まずは授業に集中しよう。先生の言うことは一言も聞き逃さない。プリントはテストのつもりで真剣に取り組む。出来る人は授業中の集中力が違います。家庭学習でも集中力は大切です。このことは、部活動や学校行事で十分学んできたと思います。

【何をどうがんばるのか・・・ここが大切】

(1) 整理と研究で基礎を固める

3年間の学習内容が体系的にまとめられている整理と研究を繰り返しやって完全にマスターする

こととが大切です。整理と研究の200ページを丸暗記するくらい何度もやれば必ず力がつきます。実際、整理と研究を見ながら試験を受けてもいいのなら、全員が合格すると思います。

整理と研究も、ただ解説を読んで、問題を解いて○つけして終わりでは、マスターできるはずはありません。甘すぎます！どうするのか？

①まず解説のページを徹底して覚える。

声を出しながら、マーカーや指でなぞりながら、どうしても頭に入らなければ、いらない紙に何度も書いて覚えます。何度も何度も繰り返すことで記憶は定着していきます。

②入試のつもりで、集中して問題を解いてみる。

問題解いてみて、間違えたところは必ずペンでチェックした後、解説のページを読んでもう一度理解する、もう一度暗記することが大切です。それでも分からぬ時は、教科書を見直したり先生や友達に質問するなどして必ず解決しよう。

（2）問題集に取り組み、力を伸ばす

この冬休みに問題集に取り組む人も多いと思います。問題集には大きく分けて2種類あります。一つは、整理と研究のように単元ごとに出題される問題集で、「ナビ」がそれにあたります。もう一つは、「全国高校入試問題集」のように、単元にとらわれないで出題されている問題集です。もうすでに、相当力を付けている人は、後者の問題集にどんどん取り組み、実践的な力を付ければよいと思います。ただ、整理と研究がまだマスターできていない人は、単元ごとの問題集に取り組み、できないときは整理と研究の解説のページに戻りマスターする方法が良いように思います。どちらにしても、問題を解いて終わりでなく、整理と研究の解説のページに戻りマスターすることが大切です。

（3）冬休みが勝負です！

14日間が勝負です。一日8時間集中して取り組めば、112時間です。いろんなやり方がありますが、2人の先輩は少し自信をなくしていたので、特に12月は、理科と社会を中心に集中して取り組ませました。比較的、点数の上がりやすい教科だからです。休み明けのテストで、社会・理科とも90点を超えて、本人たちは自信をつけたようでした。もちろん、いろんなやり方があります。迷いは禁物です。担任の先生や教科担任の先生に相談して、これだと思うやり方を信じて、自信をもって取り組むことが大切です。

2 大きく成績を伸ばした先輩からのメッセージ

2人の先輩からのメッセージを紹介します。何をどう頑張るかアドバイスした後は、2人とも夢が叶う信じての全力疾走で、見ていてこちらが苦しくなる程でした。2人の先輩は、この経験を後輩に伝える機会があればと、卒業する時にメッセージ書いてくれたので紹介します。

《可能性を信じて》

私の本格的な受験勉強は、中3の夏休みから始まりました。夏休みの勉強内容は、整理と研究の2回目と、それまでの定期テストを全てもう一度やり直すというものでした。ほぼ計画通りに勉強ができ、その頃は自分の勉強の仕方に自信を持っていました。

夏休みが終わると、それまでさほど苦しくなかった受験勉強が次第に苦しく辛く感じるようになってきました。そんな状態がしばらく続くと、問題を解いて間違えただけで、「自分は志望校に行けるんだろうか・・・」という不安に駆られ涙が出るようになりました。今思えば、その頃の自分はひどく不安定だったと思います。

そんな時、部活動でお世話になった先生に相談したり電話で話す機会が多くなりました。先生と話していると心が楽になるように感じました。そして、同じ悩みを持っていたライバルと一緒に走り出すようになりました。冬休みは、大晦日も10時間くらい勉強しました。この頃から不安定だった私の心は落ち着き、勉強中に涙が流れることはなくなりました。冬休みは、先生に教えてもらった通り、一つの教科を一気にマスターする学習方法を試しました。それを何セットか繰り返した結果、1月の実力テストでは、自分でも信じられないほど点数が上がりました。冬休みは、心の安定した状態で集中して学習に取り組めた、私の受験勉強期間内で最も充実した時期でした。

冬休みがあけた頃から、ライバルと石川県の過去問や昨年度の模試で勝負するようになりました。「50分という限られた時間内に問題を解き終え、自分の力を出し切る」という大切な能力を伸ばすことのできた、大変有意義な時間でした。

受験直前は、不安は少しあったものの、心は落ち着いていて、「成るように成る」という心境でした。受験の前日、受験の初日に3人で集まることにより、本番はとてもリラックスしてのぞめました。これまでのあの集中した受験勉強を思い出して、「自分はあれだけやったんだ」と思いました。合格発表の日に、合格者のところに受験番号を見つけた時の喜びは一生忘れません。

受験を終えて、私が思う「受験で成功するために必要なこと」が2つあります。1つは、心を安定させることです。「心・技・体の充実が大切」という言葉が今は身にしみるほど分かります。技術（知識）も必要だけど、何より心が大切です。心が安定していないと成果は出ません。私も、心が不安定なまま受験を迎えていたら、絶対結果は出なかっただと思います。

もう一つは、「これだけやったんだ」という自信を持つことです。これは何より自分の力になると思います。受験前に自分が取り組んできた問題集を見ると結構な量がありました。自分がやってきたことを信じるように言われましたが、今では強くそう思います。

苦しみの先には絶景があります。自分を信じて、そして自分を支えてくれる人達を信じてベストを尽くしてください。



《受験勉強を振り返って》

私が受験勉強で大切だと実感したことを紹介します。

(1) 整理と研究の解説のページを丸暗記するつもりで覚える。

私は先生に言われるまで整理と研究の解説のページをあまり見ていませんでした。けれど、よく見ると、高校入試問題やいろんな問題集の答えのほとんどは整理と研究の解説のページに書いてありました。つまり、整理と研究の解説のページを丸暗記すればほとんどの問題が解けると言うことです。そこで、人それぞれ個人差があると思いますが、私は次のようにして覚えました。

①解説のページを声を出しながら、マーカーや指でなぞりながら覚える

②どうしても頭に入らなければ、色ペン（私は赤色でしたが）で、いらない紙に何度も殴り書きして覚える。人がいなければもちろん声に出して。

次の日には半分以上忘れます。何度も何度も①②を繰り返すことで記憶は定着していきます。

(2) ライバルを見つける。

勉強は、一人で取り組むことが基本だと思いますが、一人で部屋にこもって何時間も机に向かって勉強していると、だんだん嫌気がさしてきます。時にはライバルと図書館で切磋琢磨しあいを刺激し合い高め合うことも有効です。

(3) 間違えた問題の見直しを徹底すること。

「問題解いた→間違えた！→赤ペンで直した→はいOK」ではなく、「問題解いた→間違えた！→解説のページを読んで理解する→もう一度問題を解いてみる→はいOK」という流れが大切です。

(4) 最後は全力で走り切る。

私は、勉強方法がわからずに伸び悩んでいた時、いろんなやり方をかじってフラフラしていました。先生と勉強をやり出してから、休日10時間以上、平日5~6時間くらい頑張りました。最後70日~80日は、全力で走り切り、限界を突破してください。

(5) 「絶対受かってやる！」という気持ちで取り組むこと。

なんだかんだ言っても、結局最後は気持ちです。「無理かもしれない」と思ったら本当に伸びないと思います。「やってやる」という気持ちが大切です。私も、「このままだと志望校は無理かもしれない」と思っていましたが、ライバルと一緒に走り出してからは、「必ず合格できる」と信じて走りました。「自分じゃ無理だ」と思っている人にこそチャレンジしてほしいと思います。

(6) 最後に

私は、勉強が嫌になった時、「一生に何度もあることじゃないから一回ぐらい本気でやってみろ！」と自分に言い聞かせました。勉強は、努力した分、自分に結果として返ってきます。第一志望を目指して頑張ってください。